

# 水俣市役所 新庁舎建設 【概要】

水俣市 総務企画部 財政課 新庁舎建設室



## ◆ 敷地・建物概要

- ・敷地面積 6,264.80㎡
- ・階数 地上4階 + 塔屋1階
- ・構造 鉄筋コンクリート造 + 一部プレストレストコンクリート造、鉄骨造  
免震構造(柱頭免震)
- ・建築面積 2,767.23㎡(新庁舎棟2,591.70㎡、屋外倉庫棟他140.43㎡、庇35.10㎡)
- ・延床面積 8,535.06㎡ ※庁舎用途部分面積 約6,842.72㎡  
(新庁舎棟8,317.02㎡(内ピロティ駐車場1,474.30㎡)、屋外倉庫棟他218.04㎡)
- ・駐車台数 108台
- ・建設費(債務負担行為額) 約40.3億円(外構工事や工事監理費を含みます。)

## ◆ 新庁舎建設の基本理念と基本方針

新庁舎建設は、旧庁舎が抱える問題点を十分に踏まえた上で、  
基本理念の実現に向け、5つの基本方針により検討を進めてきました。

### 基本理念

『市民の安全・安心を確保し、  
誰もが使いやすい、環境に配慮した庁舎』

### 基本方針

1 災害に対する  
安全性の確保

2 市民サービスの  
向上

5 環境への配慮

4 維持管理しやすい  
庁舎

3 誰もが使いやすく、  
市民に親しまれる  
庁舎



## ◆ 新庁舎の機能

新庁舎が有す機能等は次のとおりです。

### 1 災害に対する安全性の確保

#### ○ 防災拠点機能の強化

- ・大規模な地震でも庁舎機能が維持できるよう免震構造(柱頭免震)を採用し、高い耐震性能を確保しています。
- ・敷地の一部及び1階床高さを現状地盤から1mかさ上げし、浸水の危険性を低減します。
- ・電気室や発電機などの重要設備機器を2階以上の免震階に設置することで、災害時の庁舎機能を確保しています。停電・断水に対し、災害発生から72時間の業務継続を可能とするバックアップ機能を確保しています。

### 2 市民サービスの向上

#### ○ 窓口機能の充実、セキュリティ機能の充実

- ・エントランスホールには総合案内を設けるとともに、各階を吹抜けのオープンな階段やエレベーターでつなぐ分かりやすい構造とし、目的地まで迷わずに到着できます。
- ・2階に主要窓口をまとめ、市民生活に関する主要な手続きなどがワンフロアで完結できます。
- ・個人情報等の漏洩を未然に防止するため、市民と職員の動線を明確にすることで、セキュリティ機能を確保しています。



エントランスホール



窓口フロア

### 3 誰もが使いやすく、市民に親しまれる庁舎

#### ○ ユニバーサルデザインの導入、市民が集える憩いの場及び情報発信機能の充実

- ・誰でもわかりやすく、円滑に移動できるユニバーサルデザインを導入しています。
- ・1階に配置した多目的室は、外部からも直接利用できます。
- ・市民活動エリアを1階に集約したため、休日や夜間でも利用できます。
- ・来庁者は、雨に濡れないピロティ駐車場を利用でき、入口近くには「思いやり駐車場」を設けるなど、利用しやすい駐車場としています。
- ・エントランスホールには、市民活動・観光・行政・企業情報などの水俣市全体の情報を積極的にPRするスペースを確保しています。
- ・4階の議会エリアには、2台のエレベーター及び階段でアクセスしやすく、議場内の段差にはスロープを設置する等、移動しやすい議場としています。

### 4 維持管理しやすい庁舎

#### ○ ライフサイクルコストの低減、社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応

- ・建物の長寿命化を図るため、高強度コンクリートやPC緊張梁を採用した鉄筋コンクリート造とし、ひび割れしにくく耐久性の高い庁舎としています。
- ・バルコニーを設け、メンテナンスをしやすくすることで、維持管理費を軽減します。
- ・OAフロアやユニバーサルレイアウトを採用することで、執務室空間内のレイアウト変更が容易にできます。

### 5 環境への配慮

#### ○ 自然エネルギーなどの活用、省エネルギーや省資源の推進

- ・水俣の風土に合った自然エネルギーを活用した庁舎としています。
- ・中間期の日昼は、卓越風を取り込む自然換気で空調利用期間を短縮します。
- ・雨水を貯留し、日常はトイレ洗浄水などに利用します。災害時に上水道が途絶した場合でも雑用水として利用します。
- ・太陽光発電と蓄電により、低炭素化を推進し、停電時にも利用します。
- ・地下水を空調熱源や雑用水として利用します。
- ・引き続き再生可能エネルギーによる電力の利用を検討していきます。



## ◆ 配置計画

配置計画については次のとおりです。

### 敷地内歩車道分離を徹底した安全な動線計画

- ・車両動線は、現在と同じ川沿い県道側を主出入口とし、車寄せスペースは大型バスの転回ができるよう十分な幅を確保します。
- ・国道3号交差点内からの入り口（蘇峰記念館横の側道）については、安全面を考慮して車両侵入不可とします。
- ・歩行者動線は、現在と同じ位置からアプローチ可能な計画とします。蘇峰公園・蘇峰記念館に面した陣内雨水幹線沿いを歩行者専用空間（広場）として整備し、敷地内の歩車道分離を徹底。通学路としても利用できる安全な空間とします。

### 浸水を想定した敷地内レベル設定

- ・浸水対策として、車寄せや陣内雨水幹線沿いの広場、建物1階床及びピロティ駐車場部分は、川沿い県道と同程度の地盤高さ（現状より約1.0mかさ上げ）とします。
- ・敷地東側・南側は、既存の建物の解体後も現状地盤の高さのまま整備します。東側隣地（牧ノ内方面）や国道3号下部トンネル（陣内方面）へのアクセスが現状のままとなるよう計画します。



# ◆ 新庁舎の平面計画

平面計画は次のとおりです。

2階

分かりやすさと利便性に配慮した主要窓口フロア



※EVエレベーター



待合スペース

3階

機能転換が容易な防災拠点機能の集約



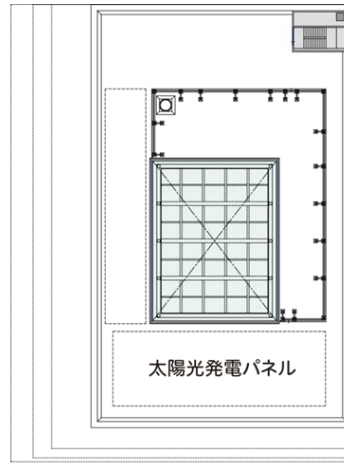
4階

誰もが利用しやすく、開かれた議会エリア



屋上

近隣への配慮、再生可能エネルギーの導入



## 建設等スケジュール

建設スケジュールについては、今後の状況等により変更となる場合があります。

2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
基本設計				実施設計				発注準備				外構工事				新館・秋葉会館 解体工事			
新館・秋葉会館 単独化設備工事				本館・別館 解体等工事				建築工事				引っ越し★ 新庁舎共用開始							